



湖北白鳥学園 松江市立大野笑楽校 学校だより

2024 (R6) 年3月22日



学校HP

進みゆく

第13号

文責 校長 小松原 弘之



“お子様のご進級おめでとうございます” “1年間、ありがとうございました”

先日の卒業式では、卒業生在校生とも立派な姿が見られ、素敵な卒業式となりました。その姿からも、お子様の所属学年の修了を宣言します。ご進級おめでとうございます。節目のこの機会にお子様がお心新たにがんばれるよう新学年スタートまでに、ご家庭でも言葉かけをよろしくお願いいたします。

今年1年間、地域スタッフを含め約1,100名の方々に支えられながら、みんなが元気な笑楽校を目指して取り組んでまいりました。その間、保護者・地域の方々には、ご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

来年度も、地域とともに歩みながら、子どもたちの成長のために、指導や支援で関わっていきたいと思います。どうか、よろしくお願いいたします。



“1年間をふりかえって”

学校の教育目標について、3学期、特にがんばろうと児童に呼びかけたことを中心に、子どもたちへのアンケートをもとにふり返ります。

<元気な笑楽校>「学校は楽しいですか」の問いに、◎評価が約70%、○を含めるとほぼ100%でした。数字にも表れているように、できたことできなかったこと、いろいろあったと思いますが満足度が高く、明るく学校生活を送る姿を見ることが多くありました。さらに、できてもできなくても挑戦することの気持ちよさを伝えていきたいと思います。

<体と心が元気>「自分からあいさつ」に関する問いに、◎評価が約60%、これについては二極化現象が見られ、登校班の空気感の違いを感じました。「さようなら」の元気よさはなかなかすてきですので、今一度、全校で取り組みたい点です。「本気で取り組むことができましたか」の問いには、◎評価が約65%でした。1学期に比べて、みんなが伸びた点です。音楽会に向けた歌の練習がきっかけになり成果に表れたと思われます。必死にがんばる場を効果的にとり入れていきたいと思います。

<仲間が元気>「友だちのよいところが見つかりましたか」の◎評価が約90%、改めて大野っ子の強みと認識しました。お互いがよく知っていて、長所も短所も理解し合っているので、困っていたら声をかけることも自然なことなんだと感じました。「自分のよいところが見つかりましたか」の◎評価は約70%でしたが、二極化の傾向が見られました。いろいろよいところがこちらは見えたと思っても、本人が自覚できるように価値づけをする必要性を感じました。

<頭が元気>「比べながら聞いて、話し合うことができたか」の問いには、◎評価は約50%でした。なかなか成果につながらない点で、指導法の工夫も加えていきたいと思います。

<地域が元気>ふるさと教育に関して子どもたちの関心は高いです。体験活動で、子どもたちがお客のようになっている面もあるなど感じています。さらに、地域の人とも、本気で考えたり時には勝負したりするような関わりができればいいなと考えています。

3/15 卒業証書授与式

校報「進みゆく」2頁



15日、春らしいとっても清々しい天候のもと、卒業生7名が飛び立ちました。厳粛でしかも心あったかな式となりました。これも、保護者・地域の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

卒業生には「夢が人生をつくるんだ」という大谷選手の言葉を贈り、これからの夢へのチャレンジにエールを送りました。「やれば、できる!」と。在校生も、気持ちのこもった態度・声で感心しました。これで、全員の進級に太鼓判を押すことができます。

1 学期前半の主な予定

<4月>

- 8日(月) 着任式 始業式 入学式準備
- 9日(火) 入学式
- 10日(水) 2~6年給食開始
- 15日(月) 地区児童会 1年給食開始
- 16日(火) PTA役員合同会
- 18日(木) 6年全国学力調査
- 24日(水) 1年生をむかえる会
- 30日(火) 学校運営協議会



<5月>

- 2日(木) 授業公開日 PTA総会
- 14日(火) 1~4.6年遠足
- ” 5年宿泊体験学習(~15日まで)
- 29日(水) 校内運動会

来年度は…

7名の卒業生を送り、4月には3名の新入生を迎える予定です。よって、令和6年度の児童数は、23名(保護者数20名)でスタートします。内訳は1年生3名、2年生2名、3年生6名、4年生2名、5年生8名、6年生2名です。職員の数に変更はありません。

少人数のよさ、複式のよさを存分に生かしていきたいと思えます。